

又最初ノ工作者ニ於テモ相當國ルヘシ
 故ニ前記和平條件ニ對スル帝國ノ腹案ヲ最初ヨリ其儘サラケ
 出ス必要ハナキモ其ノ中相當程度ノモノハ國民政府側ニモ初
 ヲリ明確ニシテ着手スルヲ要ス從テ先ツ和平條件ニ付キ我方
 ノ態度ヲ決定スルノ要アリ
 3、工作段階ト正式停戦交渉トヲ混同スルコトナク工作ハ右ニ
 至ル準備トシテ行フ

100-6

郭太子直書

極秘

對重慶政治工作ノ實施ニ關スル件
 昭和一九、九、一

一、支那問題解決ノ基本義

支那問題解決ノ根本ハ飽ク迄對華新政策ノ根本精神ノ徹底具現ニ
 アリ。而シテ右徹底具現コソ最も大ナル意味ニ於ケル對重慶政治
 施策ト稱スヘキモノナルヲ以テ後述ノ工作ヲ進ムルニ當リテモ其
 ノ成否如何ニ拘ラス之ト併行シテ政治經濟等各域ニ亘リ所謂新政
 策ヲ益々強力ニ發展セシメ以テ重慶ヲシテ我ニ同調シ來ルカ如キ
 方向ニ誘導スルコト絶対ニ必要ナリ。

ニ工作實施ノ要領

一、方針
 二、工作實施ノ要領
 三、支那問題解決ノ基本義

(一) 工作路線ノ選定

國民政府ヲシテ重慶中樞部ニ直接口ヲ利キ得ル如キ人物(例ハ
ハ周師海自身、李思浩等)ヲ選定セシメ之ヲ重慶ニ派遣ス

(二) 當面ノ工作自標

(イ) 右派遣人物ノ交向ノ便命ハ中國ノ國內統一ノ方途ニ關シ意見
交換ヲ爲スニ在ルコトトス

(ロ) 差置リ左ノ二項ヲ確實ニ達成シ得レハ右派遣人物ノ當面ノ使
命ヲ果シ得タルモノト看做ス

1、重慶内部ノ實際統制中和平問題ニ關スル重慶中樞部ノ眞意
ヲ正確ニ觀察把握シ之ヲ我方ニ傳達スルコト

2、重慶部ノ反應如何ニ拘ラス和平問題ニ關スル我方ノ意嚮ヲ
正確ニ重慶中樞部ニ傳達スルコト(要スレハ小規模經理ノ管轄
ヲ誘導セシム)

(三) 和平條件ノ決定

(イ) 和平條件ハ實質的ニ概不外華同盟條約ノ内容タルヘキモ(必ス
シモ同盟タルコトヲ條件トセス)完全ナル平等條件ニ據ルノ
決意ヲ必要トス尙左ノ諸點ニ關スル我方ノ腹案ヲ決定シ直ク
ヲ要ス

1、全面和平後ニ於ケル中國ト大東亞戰事トノ關係(中國ト
米英トノ關係、我方ノ中國ニ對スル期待限度等)

2、在滿關係ノ取扱

3、滿洲國及蒙疆ノ取扱

4、既成事案ノ具體的調整方法

5、南方占領地等ニ對スル支那側ノ參加

6、延安取權及兵艦軍ノ取扱

7、和平條件實施ノ爲ノ保障

(同差當リ左ノ各項ニ關スル我方腹案ハ事前選ニ決定ヲ要ス)

1、撤兵問題

撤兵ニ關シテハ、主權上ノミナラス實行上ニ關シテモ我方腹

案ヲ示スヲ要スヘシ

2、滿洲國問題

滿洲國ニ對スル詭ハハ代價的意味合ヲ含メテ南方地域ニ關

シ考慮ノ餘地アルコトヲ仄カス如キ決心ヲ要スヘシ

3、中國ト不共トノ關係

中國ト不共トノ關係ニ關シテハ出來得ル限り先方ノ意

圖ヲ尊重スヘシ

4、將來ノ保障

將來ノ保障ニ付先方ニ安心ヲ與フル意味ヲモ含メ且本件工

作ト對「ソ」施束トノ關係ニ關スル考慮等ヨリ日、支、「

ソ」三國間ノ平和保障機構設置案ヲ考慮スルヲ適當トスヘシ

(四) 蘇聯ノ利用

(イ) 現行中立條約ノ嚴守存續ヲ中核トシ日蘇友好關係増進ノ願望ヲ達成ス

(ロ) 對蘇關係進展ノ状況ニ應ジ蘇カ對日接近ヲ希望スルカ如キ包括的對蘇方針ノ一環トシテ「ソ」ニ依ル中共ノ宥和措置ヲ詳ヒシム

(五) 對蘇關係政治施策上首意スヘキ事項

(イ) 本工作ハ兵ノ方法時刻等宜シキヲ得サルニ於テハ既ニ戰局ノ影響ヲモ父アアル政府側ニ是多ノ反作用ヲ與フル可能注アリ又ハ英ラシテ其ノ妨害措置ヲ完備ヒシメ將來此ノ種工作ヲ全

ク不可能ナラシムルノ虞モアリ特ニ慎重ヲ期スルヲ要ス

(ロ) 本工作ハ其ノ歴史的経緯及「ソ」ノ對日及對米支態度ノ現況等ニ鑑ミ對蘇關係ニ及ホス影響ニ付テハ特ニ慎重ナルヲ要シ苟クモ反天ヲ其ノ内容トシ其ノ他米英ニ日蘇離間ノ具ヲ供スル五知事コト無キ候嚴ニ注意スルヲ要ス

極秘

一、支那問題解決ノ基本義

支那問題解決ノ根本ハ飽ク迄對華新政策ノ根本精神ノ徹底具現ニ
 アリ。而シテ右徹底具現ヨソ最モ大ナル意味ニ於ケル對重慶政治
 施策ト稱スヘキモノナルヲ以テ後述ノ工作ヲ進ムルニ當リテモ其
 ノ成否如何ニ拘ラス之ト併行シテ政治經濟等各般ニ亘リ應酬新政
 策ヲ益々強力ニ發展セシメ以テ重慶ヲシテ我ニ同調シ來ルカ如キ
 方向ニ誘導スルコト絕對ニ必要ナリ。

二、工作實施ノ要領

(一) 工作ノ進め方

(1) 工作路線ノ選定

國民政府ヲシテ重慶中樞部ニ直接口ヲ利キ得ル如キ人物（例ハ
 ハ周師海自身、李思浩等）ヲ選定セシメ之ヲ重慶ニ派遣ス

(2) 當面ノ工作目標

(1) 右派遣人物ノ表向ノ使命ハ中國ノ國內統一ノ方途ニ關シ意見
 交換ヲ爲スニ在ルコトトス

(2) 差留リ左ノ二項ヲ確實ニ達成シ得レハ右派遣人物ノ當面ノ使

命ヲ果シ得タルモノト看做ス

1、重慶内部ノ實情就中和平問題ニ關スル重慶中樞部ノ眞意

ヲ正確ニ觀察把握シ之ヲ我方ニ傳達スルコト

2、重慶商ノ反應如何ニ拘ラス和平問題ニ關スル我方ノ意圖ヲ
 正確ニ重慶中樞部ニ傳達スルコト（要スレハ小磯總理ノ旨翰
 ヲ誘帶セシム）
 (三) 和平條件ノ決定

(一) 和平條件ハ實質的ニ概ネ日華同盟條約ノ内容タルヘキモ（必ス
 シモ同盟タルコトヲ條件トヒス）完全ナル平等條件ニ據ルノ
 決意ヲ必要トス尙左ノ諸點ニ關スル我方ノ腹案ヲ決定シ直ク
 ヲ要ス

1、全面和平後ニ於ケル中國ト大東亞戰爭トノ關係（中國ト
 米英トノ關係、我方ノ中國ニ對スル期待限度等）

- 2、汪蔣關係ノ取扱
- 3、滿洲國及蒙疆ノ取扱
- 4、既成事案ノ具體的調査方法
- 5、南方占領地等ニ對スル又部側ノ參加
- 6、延安取權及共産軍ノ取扱
- 7、和平條件實施ノ爲ノ保障、
 (向差當リ左ノ各埠ニ關スル我方腹案ハ事前議ニ決定ヲ要ス)

1、撤兵問題
 撤兵ニ關シテハ主權上ノミナラス實行上ニ關シテモ我方腹
 案ヲ示スヲ要スヘシ

2. 滿洲國問題

滿洲國ニ對スル諸ハハ代價的意味合メテ南方地域ニ歸シ考慮ノ餘地アルコトヲ仄カス如キ決心ヲ要スヘシ

3. 中國ト不英トノ關係

中國ト不英トノ關係ニ對シテハ出來得ル限り元方ノ意圖ヲ尊重スヘシ

4. 將來ノ保障

將來ノ保障ニ付元方ニ安心ヲ與フル意味ヲモ言メ且本件工作ト對シ「ソ」應策トノ關係ニ關スル考慮等ヨリ日・支・ソ「三國向ノ平和保障機構設置案ヲ考慮スルヲ適當トスヘシ

(四) 蘇聯ノ利用

(イ) 現行中立條約ノ嚴守存續ヲ中核トシ日蘇友好關係増進ノ願望ヲ達成ス

(ロ) 對蘇聯施策進捗ノ状況ニ應ジ蘇カ對日接近ヲ希望スルカ如キ

包括的對蘇方針ノ一環トシテ「ソ」ニ對ル中共ノ着相措置ヲ講ヒシム

(五) 對蘇聯政治施策上留意スヘキ事項

(イ) 本工作ハ兵ノ方設時初等且シキヲ得サルニ於テハ既ニ戦局ノ影響ヲモ受テアル中府曲ニ成多ノ反作用ヲ與フル可能注アリ又不英ヲシテ其ノ妨害措置ヲ完全ヒシメ將來此ノ權工作ヲ全

ク不町話ナラシムルノ虞モアリ特ニ慎重ヲ期スルヲ要ス
何本工作ハ其ノ歴史的経緯及「ソ」ノ對日及對米支態度ノ現況
等ニ鑑ミ對蘇關係ニ及ホス影響ニ付テハ特ニ慎重ナルヲ要シ
苟クモ反天ヲ其ノ内容ト爲其ノ他米英ニ日蘇離間ノ具ヲ供ス
ル五知事コト無キ保蔵ニ注意スルヲ要ス

極秘

重慶工作ニ關スル若干ノ問題

昭和一九四一

一、人物派遣ニ關シ

重慶中樞部ニ直接口ヲキキ得ル如キ人物（例ヘバ周佛海自身、李思浩等）ヲ重慶ニ派遣スルコト

イ、右派遣人物ノ妻向ノ使命ヘ中國ハ國內統一ノ方途ニ關シ意見交換ヲ爲セシム在ルコトトス

ロ、差當リ左ノ二項ヲ確實ニ達成シ得レバ右派遣人物ノ當面ノ使命ハ果テシタルモノト看做スコト

一、重慶内部ノ實情就中和平問題ニ關スル重慶中樞部ノ態度ヲ

正確ニ觀察把握シ之ヲ我方ニ傳達スルコト

二、重慶側ノ反應如何ニ拘ラズ和平問題ニ關スル我方ノ意向ヲ

大東亞省

正確ニ重慶中樞部ニ傳達スルコト（要シレバ小磯總理ノ書翰

ヲ携帶セシム）

二、和平條件ニ關シ

完全ナル平等對等ノ條件ニ據ル（必シモ同盟スルコトモ條件トセズ）ノ覺悟ヲ必要トスルコト

イ、撤兵問題

撤兵問題ニ關シテハ主權上ノミナラズ實行上ニ關シテモ我方腹案ヲ示スヲ要スベシ

ロ、滿洲國問題

滿洲國問題ニ對スル關ヘバ代價的意味合ヲ含メテ南方地域ニ關シテ考慮ノ餘地ナシコトヲ仄々位ノ決心ヲ要スベシ

日47イブライター用紙（東京二〇九）

（日本標準規格F1）

ハ、中國と米英との關係

中國と米英との關係ノ關係ニ關シテハ出來得ル限リ先方ノ意向ヲ尊重スルヲ要スベシ

ニ、將來ノ保障

將來ノ保障ニ付先方ニ安心ヲ與フルノ意味ヲモ含メ且本件工作ト對「ソ」施策トノ關係ニ關スル考慮等ヨリ日、支、「ソ」三國間ノ平和保障機構設置案ヲ考慮スルヲ適當トスベシ

大東亞省

B4タイプワイヤー用紙(東東二〇九)

(日本標準規格D4)



極

大日本帝國政府

重要人物の調査
昭和十九年九月一日

人物派
市会中
婦人部
身事
調査

大日本帝國政府

出入

出入
中
調査
昭和十九年九月一日

南滿、使命ハ果サシムルモト
見極ムコト

即チヨリ國境邊ハ後極リ課シテハ其後
其ノヤル者ニ引キテ又ケサレハ

重慶内部、其後、中

和平問題ニ関スル重慶中

相部、眞意ニシテ正確ニ觀

察把極シ也。我方ニ侍

道スルコト
最近ノ状況ハ尙ノ所ニ分
居ラス也。チカニ確
定法問題ナリ

(重慶通信社)

名譽工員、反志、如何ニ

拘ニス。和平問題ニ関スル

我方、意向、正確ニ重慶

中相部、傳道スルコト也。

スレハ、小幡、強シク、

セシム

セフ成テ交ハルニテ、
コトナリ、但シ、我々、
正々、意、々、人、ニ、シテ、
二、減、シ、テ、モ、何、等、支、障、ナ、ク、又、後、實、
ナキ、モ、ノ、タ、ハ、フ、ス

(重慶通信社)

二、和平條件ニ對シ
 完全たる平等對等ノ條件
 ニ對シ、
 一、撤兵問題
 一、撤兵問題ニ對シテハ、
 主權上
 撤兵問題ニ對シテハ、
 主權上
 撤兵問題ニ對シテハ、
 主權上

(原案) 5/12/1945

我方被棄ツテ、
 撤兵問題ニ對シテハ、
 主權上
 撤兵問題ニ對シテハ、
 主權上
 撤兵問題ニ對シテハ、
 主權上

(原案) 5/12/1945

ハ中々ト未莫トノ實好
中々ト未莫トノ實好ノ調節ノ
シテハ出来得ル限リモ方々
向。向。向。向。向。向。向。向。
ニ將來ノ保障
出来ノ保障ノ方々
ヲ与フルノ意ハ味ヲモ含メ且

此等時期
ニ未ダス位
ハウカカ
困難ハ
先方トシテモ
ハクセカ
切
先方
トス

（國定規格紙）

事件工作ト対シ施策トノ實好
ニ向スルモモ思年ヨリ日支
以。三。三。三。三。三。三。三。三。
殺。殺。殺。殺。殺。殺。殺。殺。
南トス

出来ノ保障
先方トシテモ
ハクセカ
切
先方
トス

（國定規格紙）

極秘

對重慶政治工作實施ニ關スル件 昭一九、九、二

早稲美(傳) 傳

一、方針
對重慶政治工作ハ大東亞戰爭遂行ノ爲速カニ重慶政權ノ對日抗
戰ヲ終止セシムルヲ主眼トス。之ヲ爲スニ重慶中樞部ニ直接
口ヲ利キ待ル如キ人物ヲ選
シメ之ヲ重慶ニ派遣ス

(一) 工作路線ノ選定
國民政府ヲシテ重慶中樞部ニ直接口ヲ利キ待ル如キ人物ヲ選
シメ之ヲ重慶ニ派遣ス

(二) 當面ノ工作目標

- (1) 右派遣人物ノ表向ヲ使命ハ中國ノ國內統一ノ方途ニ關シ意
見交換ヲ爲スニ在ルコトトス
- (2) 差當リ左ノ三項ヲ確實ニ達成シ得レハ右派遣人物ノ當面ノ
使命ヲ果シ得タルモノト看做ス
 - 1、重慶内部ノ實情就中和平問題ニ關スル重慶中樞部ノ真
意ヲ正確ニ觀察把握シ之ヲ我方ニ傳達スルコト
 - 2、重慶側ノ反應如何ニ拘ラス和平問題ニ關スル我方ノ意
圖ヲ正確ニ重慶中樞部ニ傳達スルコト(要スレハ小磯總
理ノ書翰ヲ携帯セシム)

8、右話合ノ結果國民政府側（日本側ヲ含ム）ト重慶側トノ間ニ直接會談ノ機ヲ作ラシムルコト

(三) 和平條件ノ決定

和平條件ハ完全ナル平等條件ニ據ルモノトシ概ネ左記ノ如ク概定スルモノトス

(1) 全面和平後ニ於ケル中國ト米英トノ關係

支那ノ好意的中立ヲ以テ満足ス

尙支那側ヲシテ在支米英軍ヲ自發的ニ撤退セシム

(四) 汪蔣關係ノ

蔣介石ノ南京歸還、統一政府ノ樹立ヲ認ム

但シ兩者間ノ調整ハ支那ノ國內問題トシテ兩者ノ直接交

渉ニ委ス

(五) 日華同盟條約ノ取扱

日華同盟條約ヲ廢棄シ新ニ全面和平後日華永遠ノ平和ヲ

律スヘキ友好條約ヲ締結ス

此際支那内政問題ニハ一切干渉セサルモノトス

延安政權及共產軍ノ取扱モ右ニ準ス

(六) 撤兵問題

在支米英軍撤兵セハ帝國モ完全ニ撤兵ス
其ノ實行方法ニ關シテハ停戰協定ニ據ル

滿洲國問題

滿洲國ニ關シテハ現狀ヲ變更セシメサルモノトス
但シ滿洲國ニ對スル代價的意味合ヲ含メテ南方地域ニ關
シ考慮ス

蒙疆ノ取扱

支那ノ内政問題トシテ取扱ハシム

(H) 香港ノ處置

支那ニ割譲ス

チ將來ノ保障

支那側ノ帝國ニ對スル要求ニ付テハ成シ得ル限り其ノ要
求ニ應ス

帝國ノ支那ニ對スル保障要求ハ再ヒ支那ニ侵入スル米英軍
軍ニ對スル爲必要ノ派兵ヲ容認セシム

多量に送る

送付

一九三九年

機密

重要工作要綱草案

一 方針

- (一) 重要工作は左記の如く行われしものとす
- (二) 重要工作は左記の如く行われしものとす
- (三) 重要工作は左記の如く行われしものとす
- (四) 重要工作は左記の如く行われしものとす

三 要領

(一) 工作の大綱

- (一) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (二) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (三) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (四) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (五) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (六) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (七) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (八) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (九) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十一) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十二) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十三) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十四) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十五) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十六) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十七) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十八) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (十九) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)
- (二十) 聯合石トシテ重要ノ大綱ヲ決定トセル太平洋東洋(新領ノ上)

スミヤカニ... 務任... 必... 必...

(二) 右工作ニ伴ヒ米英方陣ノ機密ニ關係スルト否トハ拘ラズ...

重要工作ノ系統ハ八月二十六日最高戦争指導會議決定...

重要政治工作ニ付テハ最高戦争指導會議ノ決定ニ準テ...

(4) 工作ノ時期
 即時政治工作ニ着手シ其ノ成果ヲ早クモ最高潮期ヘ取リ進め
 軍ノ太平洋決戦ニ於ケル最果ヲ直撃スルニ之ヲ決定スル如ク進
 策ス

(5) 交渉條件ノ内容

- (1) 南京政府成立後果次ノ聲明、約束、條約等ニ明ナルモ其他ノ條
 件ヲ加ヘ念ノ爲記述スレバ左ノ如シ
- (2) 支那ハ支那人ノ手ニ完全ニ返却ス
- (3) 政治經濟上ノ平等條約及日華提携ニ依ル南洋文化ノ創造ト爲
 揚
- (4) 日華共同防衛條約ノ締結
- (5) 滿洲ハ匪存事實トシテ其ノ獨立ヲ承認セシム
- (6) 在支日本軍ハ對華英作戦ノ爲必要ナルモノヲ除クノ外部時敵

兵ス

大東亞戰爭終息ト共ニ余部ヲ撤兵ス但シ民間以外必要ナル方
 面ニ對スル派兵ノ鐵道輸送ハ其ノ時々ノ交渉ニ依リ之ヲ認
 許セシム

- (7) 「ソ」聯トハ友好關係ヲ維持ス
- (8) 中國共產黨ニ對スル態度ニ關シテハ「ソ」聯トノ關係ヲ顧慮
 シ管分不即不離ノ態度ヲ持スルモ蔣方南京主席トシテ國政實
 施ニ當リ防共ノ態度ヲ徹底セントスル場合ニ於テハ其ノ時ニ
 於ケル對「ソ」關係ヲ考慮シ別ニ協定ス
- (9) 支那事實以時今日ニ至ル迄日本軍ガ支那ノ治安及防備ノ爲ニ
 使用セシ金額(日本ニ於テ聯銀及儲蓄銀行ヨリ借入レタル金
 額)ハ民間ノ負擔ニ於テ決濟ス

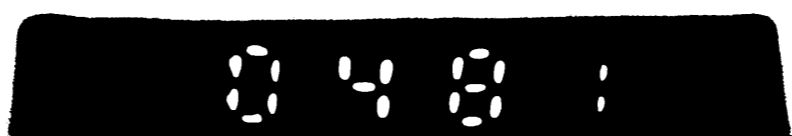


④ 工部局設立ノ趣旨ノ要旨

(2) 日本軍ノ今後ニ於テ其ノ軍備ノ充實ノ爲メ其ノ支費セシムルニキリテ事費甚スルヲ爲シ南支那地方ノ保護ニ當リ其領地ノ建設ニ取リ及ハズニ在テ其軍費ノ増進ニ當リ其領地ノ建設ニ

(3) 取リ及ハズニ在テ其軍費ノ増進ニ當リ其領地ノ建設ニ取リ及ハズニ在テ其軍費ノ増進ニ當リ其領地ノ建設ニ

(4) 取リ及ハズニ在テ其軍費ノ増進ニ當リ其領地ノ建設ニ取リ及ハズニ在テ其軍費ノ増進ニ當リ其領地ノ建設ニ



機密

大日本帝國政府

重慶工作要綱私案

一九四九年二月

一 方針

重慶工作ハ左記目的ニ吻合スル如ク實施スルヲ要ス

(一) 最も效果的ナル方法ト時期トニ於テ大東亞戰爭ノ目的完遂ニ直

接寄與貢獻スルコト

(二) 支那ノ全面和平及日支ノ國交正常化ニ大ナル效果アラシメサル
ヘカラス

二 要領

(一) 工作ノ大筋

(1) 蔣介石ヲシテ宣戰ノ大詔ヲ基底トヒル太平洋憲章(折衝ノ上

大日本帝國政府

別ニ立案ス)ヲ提ケ米英ニ呼ヒ掛ケテ其實行ヲ提唱ヒシム、
而シテ米英若シ本提唱ニ聽從スル場合ニ於テハ日支米英間ニ
交渉ヲ開始シ若シ聽從ヒサル場合ニ於テハ蔣ヲシテ米英側ヨ
リ離脱シテ少クトモ嚴正中立ヲ聲明ヒシメ米英側ノ態度ニ應
シ爲シ得レハ日本トノ攻守同盟ヲ締結シテ米英ニ對シ宣戰ヒ
シム

(2) 右工作ニ伴ヒ米英カ蔣ノ提案ニ聽從スルト否トニ拘ラス蔣ヲ
シテ南京政府ノ主席タラシム

前項ノ場合汪精衛尙ホ健在スルトキハ蔣汪ノ間ニ適宜調整ヲ
加フルコトトシ汪ニシテ若シ病死ヒル場合ニ於テハ當分ノ間
主席ヲ置カス行政院長陳公博ヲシテ主席ヲ代理ヒシメ蔣ヲ迎

大日本帝國政府

フルニ便ナラシム

(二)重慶工作ノ系統(八月二十六日最高戰爭指導會議決定)

對重慶政治工作ニ付テハ最高戰爭指導會議ノ決定ニ基キ總理大臣ニ於テ外務大臣ト連絡シ國民政府ヲ通シ其ノ自發的形式ニ於テ實施ス(所要ニ應シ顧問其ノ他ヲ招致ス)

本工作ハ右系統以外ニ於テハ一切之ヲ實施ヒシメサルモノトス尙ホ右工作ハ在支大使及陸海軍最高指揮官ニ通報シ協力シテ國民政府ト密接連絡ノ上同政府ノ行フ所ヲ支援ヒシム

(三)工作路線ノ選定

差當リ祕密裡ニ重慶中樞部特ニ蒋介石個人ニ對シ信ヲ有スル有能者ヲ選定シ南京出先機關監視ノ下ニ南京政府ト重慶トノ間ニ

大日本帝國政府

直接交渉ヒシムル如ク工作ス

前項ノ人物選定ニ關シテハ現地就中南京政府ノ意見ヲモ徵シ最高戰爭指導會議ニ於テ決定ス

祕密交渉ノ進展ニ應シ日本側ト重慶側トノ間ニ直接會談ヲ進メ得ルノ時期ニ到達ヒハ別途ノ研究ニ依リ交渉ノ衝ニ當ルヘキ重要人物又ハ機關ヲ決定ス

(四)在支異分子ニ對スル處置

(1)延安政府(中共)ニ對シテハ祕密工作終了ニ至ル迄絕對祕密ヲ保持シ正式交渉ニ移行スル後ト雖モ對「ソ」工作ノ關係ヲ考慮シ當分不即不離ノ態度ヲ持續シ排撃的色彩ヲ露骨ナラシメサル如ク着意ス

大日本帝國政府

- (2) 在支米英軍ニ對シテハ重慶政權ノ米英ニ對スル提案交渉安結ニ至ラサル場合ニ於テハ重慶軍ヲシテ機ヲ失ヒス抑留又ハ驅逐ヒシム
- 右ノ爲要スレハ日本軍兵力ヲ以テ應援スルニ吝ナラス
- (五) 工作ノ時期
- 即時政治工作ニ着手シ其ノ成果ヲ舉クヘキ最高潮期ハ我カ陸海軍ノ太平洋決戰ニ於ケル戰果舉レル直後ニ之ヲ選定スル如ク施策ス
- (六) 交渉條件ノ内容
- 南京政府成立後累次ノ聲明、約束、條約等ニ明ナルモ其他ノ條件ヲ加ヘ念ノ爲記述スレハ左ノ如シ

大日本帝國政府

- (1) 支那ハ支那人ノ手ニ完全ニ返却ス
- (2) 政治經濟上ノ平等條約及日華提携ニ依ル東洋文化ノ創造ト昂揚
- (3) 日華共同防衛條約ノ締結
- (4) 滿洲ハ既存事實トシテ其ノ獨立ヲ承認ヒシム
- (5) 在支日本軍ハ對米英作戰ノ爲必要ナルモノヲ除クノ外即時撤兵ス
- 大東亞戰爭終熄ト共ニ全部ヲ撤兵ス但シ萬國以外必要ナル方面ニ對スル派兵ノ鐵道輸送ハ其ノ時々ノ交渉ニ依リ之ヲ認諾ヒシム
- (6) 「ソ」聯トハ友好關係ヲ維持ス

大日本帝國政府

中國共產黨ニ對スル處置ニ關シテハ「ソ」聯トノ關係ヲ顧慮シ當分不即不離ノ態度ヲ持スルモ蔣カ南京主席トシテ國政變理ニ當リ防共ノ趣旨ヲ徹底セントスル場合ニ於テハ其ノ時ニ於ケル對「ソ」關係ヲ考慮シ別ニ協定ス

(7) 支那事變以降今日ニ至ル迄日本軍カ支那ノ治安及防衛ノ爲ニ使用ヒシ金額ハ日本ニ於テ聯銀及儲備銀行ヨリ借入レタル金額ハ民國ノ負擔ニ於テ決濟ス

(七) 工作不成立ノ場合ノ處置

(1) 日本軍ノ今後ニ於ケル軍費ハ支那ノ負擔ニ於テ支辨ヒシムルコトヲ事實化スル爲南京政府トノ妥結ニ依リ占領地ノ全城ニ亘リ直チニ軍政ヲ布ク

大日本帝國政府

(2) 取り敢ヘス支米英軍ノ根據覆滅ヲ目標トシテ作戰ヲ實施ス

(3) 右ノ處置ト相伴ヒ依然執拗ニ對重慶政治工作ヲ進メ而モ尙ホ重慶ニシテ聽從ヒサル場合ニ於テハ滿洲國ノ中原進出及適任者ノ南京主席擁立ト相俟ツテ重慶政權ノ覆滅ニ向ツテ邁進ス

機密

大日本帝國政府

最高戰爭指導會議幹事會

對重慶政治工作實施ニ關スル件

昭和十九年九月四日

出席者 幹事及上村、安東

午前十時書記官長室

但多田幹事ノ代理トシテ渡邊大佐

一、迫水參事官ヨリ指導會議ニ提出セラレタル總理私案、大東亞省案、外務省案ノ三案ニ付幹事輔佐ニ於テ三日夜命ニ依リ意見ヲ交換シ、大東亞省案ヲ骨子トシテ、陸、參幹事輔佐ノ作成セル原案ヲ基礎トシテ一案ヲ得タル旨ヲ述ヘ其ノ内容ニ付一應説明ス

二、審議ニ入り佐藤陸軍軍務局長ハ(一)ノ工作路線ノ選定ニ關シ、南京側カ果シテ斯ル人物ヲ選定シ得ルヤ又之ヲ今ノ時機ニ於テ欲スルヤ

大日本帝國政府

疑問ナリ(先般周佛海ハ今ハ時機ヲ得居ラストイヘリ)幹事輔佐案ハ其第一步ニ於テ行キツマル處アリト修正ヲ主張書記官長之ニ贊成

結局(一)ト(二)ヲ合セ

「八月三十日最高會議決定ニ依リ國民政府ヲシテ彼我ノ間ニ直接會談ノ機ヲ作ルコトヲ工作セシム 之カ爲爲シ得レハ國民政府ヲシテ適當ナル人物ヲ重慶ニ派遣セシム」トシ、當然ノコトトシテ(一)1、2、3、ハ削除ス。

尙彼我ノ「我」國民政府ヲ含ム日本ノ意ニ解ス

三、和平條件ニ付テハ別ニ新シキコト無キモ從來ノ和平工作ニ於テハ

大日本帝國政府

我方ノ條件ニ付明瞭ナラス之ヲ傳達シ得サリシ嫌ヒ無キニ非ス、
今回ハ之ニ付明確ナル考ヘヲ決定シ置キ適宜重慶ニ傳達スルコト
必要ナルカ故ニ(四)ノ趣旨ヲ明ニスル爲
和平條件ノ決定ノ最後ニ備考トシテ
「一ノ工作ニ付テハ和平條件ノ腹案ヲ適宜先方へ通スルコトヲ考
慮ス」ト加フ

四佐藤局長ハ重慶ハ日本ノ對中共接近ヲ憂慮シツツアルコトハ明ナ
レハ、之ヲ對重慶工作ノ索制ニ利用スルコト必要ナリ、本工作ニ
就テハ是等ノ根本方針ヲ審議シテコソ價値アリ、工作手續ニノミ
重キヲ置クハ事務的ニ過ク本案全體ニ付其ノ感ヲ深フスト云ヒ

大日本帝國政府

書記官長之ニ贊ス

我方ヨリ、中共ヲ利用スルコトハ可ナル小手先ニ之ヲ用フルハ我
カ眞意ヲ重慶側ニ徹底セシムルニ害アルヘク寧ロ其ノ「バック」
タル「ソ」聯トノ接近ニ依ル政治的迫力ヲ利用スヘキナリト主張
結局

(四)蘇聯利用ニ關シ

(四)ヲ削除シ

速ヤカナル日「ソ」國交ノ好轉ニ依ル政治的迫力ヲ活用シ且中共
ノ利用ヲモ考慮シ本工作ノ促進ヲ圖ル

五(五)ハ海軍側ノ主張ナルカ之ヲ陸、大ノ主張ニ依リ

大日本帝國政府

・ ・ ・ ・ 厭戰思想ヲ助長シ且重慶ノ英米依存カ窮極ニ於テ支那民
族ノ隸屬化東亞ノ滅亡ヲ招來スル所以ヲ徹底セシムル如ク凡有ル
手段ヲ講ス」ト改ム。

ナリ

(七) 我方ノ主張ニ依リ

「強化スヲ變更シ」考慮ス」ト改ム

六、尙和平條件ノ決定ニ關シ

自發的ニ米英軍ヲ撤退セシムルカ如キハ不可能ナリトノ陸海軍側
ノ意見アリ削除説モ出タルカ其ノ意味ヲ殘スコトハ強制ヲ要求セ

大日本帝國政府

サル意味ニテ不可ナラスト外、大ニテ主張シ嚴選スルコトトセリ
本修正案ハ幹事會ノ一應ノ腹案トシテ提出スルコトニ決定ス
及佐藤軍務局長ヨリ幹事ヲ浮カセルカ如キ指導會議ノ遣リ方ニ對シ
痛烈ナル批難アリ書記官長之カ調整方ヲ獻言スヘキヲ約ス

機密

機密

對重慶政治工作ノ實施ニ關スル件

昭和一九、九、三 万手身本
(九月一日迄、修了)

いふべきは、
（石井）

支那問題解決ノ基本義
支那問題解決ノ根本ハ飽ク迄新政策ノ根本精神ノ徹底具現ニ
アリ。而シテ右徹底具現コソ最モ大ナル意味ニ於ケル對重慶政治
施策ト稱スヘキモノナルヲ以テ後述ノ工作ヲ進ムルニ當リテモ其
ノ成否如何ニ拘ラズ之ト併行シテ政治經濟等各般ニ亘リ所謂新政
策ヲ益々強力ニ發展セシメ以テ重慶ヲシテ我ニ同調シ來ルカ如キ
方向ニ誘導スルコト絕對ニ必要ナリ

三、工作實施ノ要領

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

機密

(一) 工作ノ系統

八月二十六日最高會議決定ニ依ル

(二) 工作路線ノ選定

國民政府ヲシテ重慶中樞部ニ直接口ヲ利キ得ル如キ人物(例へ
ハ周佛海自身、李思浩等)ヲ選定セシメ之ヲ重慶ニ派遣ス

(三) 當面ノ工作目標

(1) 右派遣人物ノ表向ノ使命ハ中國ノ國內統一ノ万途ニ關シ意見
交換ヲ爲スニ在ルコトトス

(2) 差當リ左ノ二項ヲ確實ニ達成シ得レハ右派遣人物ノ當面ノ使

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

タイプライター用製用字紙（5井納）

命ヲ果シ得タルモノト看做ス

- 1、重慶内部ノ實情就中和平問題ニ關スル重慶中樞部ノ眞意ヲ正確ニ觀察把握シ之ヲ我方ニ傳達スルコト
- 2、重慶側ノ反應如何ニ拘ラズ和平問題ニ關スル我方ノ意嚮ヲ正確ニ重慶中樞部ニ傳達スルコト
- 3、派遣人物ヲシテ傳達セシムヘキ和平ニ關スル我方服案大綱ハ以下(四)ニ掲クル和平條件ノ趣旨ニ適宜接配シ之ヲ決定ス(一要スレハ小磯總理ノ書翰ヲ携帯セシム)

四) 和平條件ノ決定

(1) 和平條件ハ實質的ニハ概ネ日華同盟條約ノ内容タルヘキモノ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 B5)

(必スシモ同盟タルコトヲ條件トセズ) 完全ナル平等條件ニ據ルノ決意ヲ必要トス尙左ノ諸點ニ關スル我方ノ服案ヲ決定シ置クヲ要ス

- 1、全面和平後ニ於ケル中國ト大東亞戰爭トノ關係(中國ト米英トノ關係、我方ノ中國ニ對スル期待限度等)
- 2、汪蔣關係ノ取扱
- 3、滿洲國及蒙疆ノ取扱
- 4、既成事項ノ具體的調整方法
- 5、南方占領地等ニ對スル支那側ノ參加
- 6、香港ノ處置
- 7、延安政權及共產軍ノ取扱
- 8、支那荒地ノ服與ニ關スル援助

大東亞省

(東京1209) (日本標準規格 B5)

9、和平條件實施ノ爲ノ保障

(四)我方腹案ノ決定上特ニ注意ヲ要スル事項左ノ如シ

- 1、撤兵問題
- 撤兵ニ關シテハ主權上ノミナラス實行上ニ關シテモ我方腹案ヲ示スヲ要スヘシ
- 2、滿洲國問題
- 滿洲國ニ對スル關係ハ代價的意味合ヲ含メテ南方區域ニ關シ考慮ノ餘地アルコトヲ瓜カス如キ決心ヲ要スヘシ
- 3、中國ト米英トノ關係
- 中國ト米英トノ關係調整ニ關シテハ出來得ル限り先方ノ腹案

大東亞省

(東京1209)(日本標準尺格 15)

撤兵ニ關スルヲ要スヘシ

4、將來ノ保障

將來ノ保障ニ付先方ニ安心ヲ與フル意味ヲモ含メ且本件工作ト關「ソ」施設トノ關係ニ關スル考慮等ヨリ日、支、「ソ」三國間ノ平和保障機關設置案ヲ考慮スルヲ建議トスヘシ

5、重要施設保護施設上重要スヘキ事項

(五)本工作ハ其ノ方法時期等宜シキヲ得ナルニ於テハ能ク戰局ノ影響ヲ受ケアル虞存シ、甚多ノ製作期ヲ與フル可能性アリ又米英ヲシテ其ノ妨害施設ヲ遮断セシメ將來此ノ種工作ヲ全

大東亞省

(東京1209)(日本標準尺格 15)

ク不買物ナラシムルノ虞モアリ特ニ慎重ヲ期スルヲ要ス
(四) 本工作ハ其ノ歴史的経緯及「ソ」ノ書頁及賣米支應ノ現況
等ニ備ミ賣米地關係ニ及ホス影響ニ付テハ特ニ慎重ナルヲ要
シ苟クモ反共ヲ其ノ内容トシ其ノ德米英ニ日露關係ノ具ヲ供
スルカ如キコト無キ様嚴ニ注意スルヲ要ス

大東亞省

(東京1209)(日本標準規格 18)

國家機密

大日本帝國政府

六號(一)

對重慶政治工作實施ニ關スル件

最高戰爭指導會議
昭和一九、九、五決定

一、方針

對重慶政治工作ハ大東亞戰爭遂行ノ爲速カニ重慶政權ノ對日抗戰ヲ終止セシムルヲ主眼トス之レガ爲先ヅ彼我ノ間ニ直接會談ノ機ヲ作ルヲ以テ第一目標トス

二、要領

(一) 當面工作ノ目標
八月三十日最高會議決定ニ依リ國民政府ヲシテ彼我ノ間ニ直接會談ノ機ヲ作ルコトヲ工作セシム

大日本帝國政府

之ガ爲爲シ得レバ國民政府ヲシテ適當ナル人物ヲ重慶ニ派遣ヒシム

(二) 和平條件ノ決定

和平條件ハ完全ナル平等條件ニ據ルコトヲ建前トシ概ネ左記ノ如ク概定スルモノトス

(イ) 全面和平後ニ於ケル中國ト米英トノ關係

支那ノ好意的中立ヲ以テ滿足ス

尙支那側ヲシテ在支米英軍ヲ自發的ニ撤退セシム

(ロ) 汪蔣關係

蔣介石ノ南京歸還、統一政府ノ樹立ヲ認ム

大日本帝國政府

但シ兩者間ノ調整ハ支那ノ國內問題トシテ兩者ノ直接交渉ニ
委ス

(イ) 日華同盟條約ノ取扱

日華同盟條約ヲ廢棄シ新ニ全面和平後日華永遠ノ平和ヲ律ス
ヘキ友好條約ヲ締結ス

此際支那內政問題ニハ一切干涉セサルモノトス

延安政權及共產軍ノ取扱モ右ニ準ス

(ロ) 撤兵問題

在支米英軍撤兵セハ帝國モ完全ニ撤兵ス
其ノ實行方法ニ關シテハ停戰協定ニ據ル

大日本帝國政府

(イ) 滿洲國問題

滿洲國ニ關シテハ現状ヲ變更セシメサルモノトス

(ロ) 蒙疆ノ取扱

支那ノ內政問題トシテ取扱ハシム

(ハ) 香港ノ處置

支那ニ讓渡ス

南方權益ニ關シテハ別ニ考慮ス

(ニ) 將來ノ保障

支那側ノ帝國ニ對スル保障要求ニ付テハ成シ得ル限り其ノ要
求ニ應ス

大日本帝國政府

帝國ノ支那ニ對スル保障要求ハ再ヒ支那ニ侵入スル米英軍ニ對スル爲必要ノ派兵ヲ容認セシム

(三) 蘇聯ノ利用

(イ) 速カナル日「ソ」國交ノ好轉ニ依ル政治的迫力ヲ活用シ本工作ノ促進ヲ圖ル

(ロ) 日「ソ」交渉ノ進展ニ伴ヒ要スレハ「ソ」ヲシテ本件工作ノ仲介ヲナサシムルコトアリ

(四) 本工作ニ並行シテ日華和平思想ヲ助長シ且重慶ノ英米依存ガ窺極ニ於テ支那民族ノ隸屬化東亞ノ滅亡ヲ招來スル所以ヲ徹底セシムル如ク凡有手段ヲ講ス

大日本帝國政府

(五) 本工作實施上留意スヘキ事項

(イ) 和平條件提示ノ範圍及方法ニ關シテハ別ニ定ム

(ロ) 本工作ハ凡有手段ヲ盡シ執拗ニ行フモノトス

(ハ) 本工作實施ニ方リテハ對「ソ」關係ニ及ホス影響ニ付テハ特ニ慎重ナルヲ要シ米英ニ日「ソ」離間ノ具ヲ供スルガ如キコト無キ様嚴ニ注意ス

國家機密

20部内第10號

對重慶政治工作實施ノ爲國民政府ニ傳達スヘキ帝國ノ眞意ニ關スル件(案)

昭一九、九、六

研究中

本工作實施ニ方リテハ先ツ國民政府ニ對シ左記諸項ニ關スル帝國ノ意圖ヲ明示シ國民政府ノ本工作完遂ニ對スル熱意ヲ十全ナラシム之カ爲速カニ

大東亞大巨自ラ現地ニ至リ國民政府ニ傳達ス

本工作 從來者 レタル重慶工作ト其ノ性質ヲ異ニシ日支間

題解決ノ最後の和平提案ニシテ若シ成ラサレハ支那特ニ占領地域

ニ對スル帝國ノ軍事的經濟的要請ハ益々加重セラルヘシ

ニ帝國ハ情勢如何ニ不利トナルモ日滿支ニ亘ル地域ニ婚居シ飽ク迄

帝國ノ自存自衛ト東亞解放ノ爲戰爭ヲ繼續ス

今後着々此ノ態勢ヲ整ヘ事實ヲ以テ右決意ヲ明示ス

之ニ依リ今ニシテ日支和平スルニ非サレハ戰爭ノ長期化ニ伴ヒ支

那ニ對スル日本ノ壓力ハ益々加重セラルヘク從ツテ重慶側カ米英

ノ武力ヲ藉ルモ支那領域ヨリ日本ノ武力ヲ驅逐スルコトハ不可能

ナルノミナラス支那四億民衆ハ更ニ塗炭ノ苦境ニ陥ルヘシ

重慶ニシテ反省スルコト無ク現狀ノ儘推移センカ米英ノ武力的經

濟的壓力ハ更ニ加重セラルヘク又縱ヒ萬一米英ノ力ニヨリ日本軍

隊ヲ驅逐シ待タリトスルモ米英軍隊ノ駐屯ニヨリ中國ハ永遠ニ其

ノ獨立ヲ失ヒ米英ノ願使ニ甘ンセザルヘカラサルニ至ルヘキハ火
見ルヨリモ明カナリ



日「ソ」間ノ友好關係ハ今後益々増進スヘク之ニ依リ日「ソ」支
相提携シテ東亞永遠ノ平和ヲ保全センゴトヲ期ス若シ重慶ニシテ
反省セズンハ日「ソ」相計リテ延安政權ト國民政府トノ提議ニヨ

ル新中國ノ統一ニ對シ強方ナル支援ヲ與フヘシ
第一項目標ノ爲國民政府ニ提示スヘキ和平條件ノ腹案別紙ノ如シ

別紙

國民政府ニ提示スヘキ和平條件ノ腹案

一、重慶ト米英トノ關係ニ就テハ國民政府ト重慶トノ話合ヲ極力尊重ス

國民政府側ヨリ要求アリタル場合ハ對米英宣戰ハ之ヲ要求セサル

旨ヲ回答ス

ニ汪蔣ノ關係ニ就テハ國內問題トシテ取扱ヒ兩者ノ話合ニ一任ス

三、日華同盟條約、日華共同宣言ハ廢棄ヲ考慮ス

四、日滿華共同宣言ハ廢棄ヲ考慮ス

五、米英ニシテ撤兵セハ帝國モ亦速カニ完全ニ撤兵ス

六、滿洲國問題ニ關シテハ一切觸ルルコトナシ

七、臺灣ノ取扱ニ關シテハ進ンテ觸レサルモ國民政府ヨリ要求アリ

ル場合ハ國民政府ノ主權ヲ認メツツ現状ヲ維持スル旨ヲ回答ス

八、香港ノ措置ハ國民政府ト重慶間ノ話合ニ委ヌ

九、南方權益ノ措置ニ關シテ觸ルルコトナシ